

# 使用上のお願い

## 車内で使用するときのお願い

本機は、サイドブレーキの配線による安全機能を備えております。必ず、サイドブレーキコードを正しく接続し、車載用スタンドに固定してご使用ください。

- 走行中は本機の操作が一部制限されます。必ず安全な場所に停車して操作してください。(ワンセグは、走行中には映像が表示されず、音声のみとなります。)
- サイドブレーキコードを接続している場合は、停車中でもサイドブレーキを引かないと映像は表示されません。
- サイドブレーキコードの配線ができない場合は走行/停止判定を「自動」に設定してください。(P. 124) 設定の変更は、車載用スタンドに取り付ける前に行ってください。「自動」に設定した場合には、GPSの受信状況等によっては、走行中の操作やワンセグ視聴が可能になる場合がありますので、必ず安全な場所に停車させてご使用ください。
- シガーライター電源で使用するときは、エンジンをかけてご使用ください。エンジンを止めた状態で長時間使用すると、バッテリーが消耗します。なお、地域によってはアイドリングが禁止されている場合もあります。各自治体の指示(地域の条例)に従ってください。

## 免責事項について

- 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により故障および損害が生じた場合、原則として有料での修理とさせていただきます。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害(事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など)に関して、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本機のナビゲーション機能および地図データは、自動車による道路上での使用を前提に作られています。船舶や航空機の航行補助装置や登山用の地図など、本来の使い方から逸脱した使用により生じた損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本製品を業務用の車両(バス・トラック・タクシー・商用車など)に使用した場合の保証はできません。
- 他人に譲渡または処分などされる際は、プライバシー保護のため本機に入力した個人情報(登録ポイントの名称など)の取り扱い、管理(消去等)は、必ずお客様の責任において行ってください。当社は一切の責任を負いかねます。
- お客様または第三者が本機の使用を誤ったとき、静電気・電氣的なノイズの影響を受けたとき、地図データや基本プログラム等が変化・消失した場合の補償はできません。
- お客様または第三者が本機の使用を誤ったとき、静電気・電氣的なノイズの影響を受けたとき、または故障・修理のときなどに、本機に登録されていた情報(登録ポイントなど)が変化・消失した場合、その内容の補償はできません。

## 地図 microSDHCカードの取り扱い

- 付属の地図 microSDHCカードには、地図データが収録されています。必要なとき以外はナビゲーション本体から取り出さないでください。(お買い上げ時にナビゲーション本体へ挿入済)
- 地図 microSDHCカードは、お買い上げ時に挿入されていた機器でのみ使用できます。他の同型の機種に挿入しても、使用できません。
- 必ず地図 microSDHCカード挿入口に挿入してお使いください。市販のアダプターを使って SDメモリーカード挿入口に挿入しても使用できません。
- 地図 microSDHCカードは、コピープロテクトがかけられています。他の microSDHCカードにデータをコピーしても使用できません。
- データを、解析・変更・消去・フォーマットしないでください。データが破壊され、本機が正常に動作しなくなります。

## SDメモリーカードの取り扱い

本機は SDメモリーカードおよび 32 GB までの SDHCメモリーカードに対応しています。

データや SDメモリーカードの破損、および本機の故障の原因になることがありますので、次のことをお守りください。(データ消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねます。)

- 本機から取り出したら、必ずケースに収納する。
- 裏面の端子部を手や金属で触れたり、汚さない。
- 貼られているラベルをはがさない。
- シールやラベルを重ねて貼り付けない。
- 強い衝撃を与える、曲げる、落とす、水に濡らすなどしない。
- SDHCメモリーカードは SDHCメモリーカード対応の機器で使用できますが、SDメモリーカードのみに対応した機器では使用できません。
- miniSDカード /microSDカードを本機の SDメモリーカード挿入口に入れる場合は、必ず SDアダプター (miniSDカード /microSDカードに付属)を装着してください。必ずアダプターごと抜き差しし、本機にアダプターだけ残さないようにしてください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。